

# Challenge Road



学校法人 トヨタ名古屋整備学園

専門学校 トヨタ名古屋自動車大学校

URL <http://www.toyota-tcn.ac.jp> E-mail [dosokai@toyota-tcn.ac.jp](mailto:dosokai@toyota-tcn.ac.jp)

〒452-8567 愛知県清須市春日一番割1番地

TEL : 052-400-3611 FAX : 052-400-3615

学校新聞編集局 発行責任者 和田孝二



Vol.24



## 目次 Contents

6時間耐久レース、  
ヴィッツ優勝!

同窓生Close up! 2・3

ネットトヨタ静浜株式会社  
代表取締役社長

竹林 栄吉さん

株式会社NOVEL 代表取締役

渡辺 卓さん

愛知トヨタ自動車株式会社 名駅店

本多 綾乃さん

就職活動now! 4

トヨタカローラ愛知株式会社

豊嶋 紀夫さん 作石 亮仁さん

令和3年度トピックス 5・6

## 厳しい条件をチームワークで克服!

12月18日、富士スピードウェイで開催された6時間耐久レースに教員ドライバー、学生メカニックという体制で参戦し、見事VITZクラスで優勝することができました!このレースでは給油を伴うピットインに最低滞在時間が設けられ、1回の給油量が20ℓに制限されているため、周回タイムと燃費の管理、正確で素早いタイヤ交換作業が求められます。メカニックの学生はラリー仕様のVITZをレース仕様に変更し、戦略を考え共有して、タイヤ交換などの練習を前日まで重ねてきました。

## 日頃の成果を出し切り優勝へ!

迎えたレース当日。予選でクラス2位となり、良いポジションで決勝スタート。通信トラブルやセーフティーカーの影響で順位を落とすも、粘り強い走り、正確なタイヤ交換作業や状況に応じた作戦管理により、約5時間経過後には1位となり、2位との差を守り抜きトップチェッカーを受けました。今回のレースでは、準備やチームワークの大切さ、結果に結びつく喜びなど、多くのものを得ることができました。今年は連覇を狙います!今後もモータースポーツクラブの応援をよろしくお願いします。



# クローズアップ! Close up! 同窓生

様々な分野で活躍する同窓生の皆様をご紹介します。



竹林社長は左から3番目。  
念願だった新テクニカルセンターの前で、当校卒業の社員と一緒に

ネットトヨタ静岡株式会社 代表取締役社長

Eikichi Takebayashi **竹林 栄吉さん** (1977年度 本科卒)

充実した日々を過ごした学生時代  
夢を諦めるもトヨタディーラー一筋で社長に

**Q.** 入学の動機と学生時代の思い出を教えてください。

**A.** 子供の頃から機械いじりが好きで、父親から勧められたのが動機です。学校では毎日宿題が出て、当時4人部屋の学生寮にいて、みんなで一生懸命勉強しましたね。自動車部品をスケッチする宿題では、「どうしてこういう形状をしているのか」とスケッチしながら真剣に考えていました。整備の知識や車の構造がわかってくと、理にかなっていることが理解でき、観察力が養われました。

**Q.** 学生時代はどんな夢をお持ちでしたか。

**A.** 当時はできるだけ早く自立して整備工場を経営したいと思っていました。しかし、開業資金や顧客の需要などを計算したら、なかなか大変だと気付いて、早めに諦めました(笑)。結局、卒業後は地元のトヨタディーラーに就職し、メカニック、フロントマン、技術トレーナー、工場長、店長、サービス部長、営業本部長など多くの仕事を経験しながらずっとディーラー一筋で来ています。

**Q.** 学校で学んだことで、今でも役に立っていることはありますか。

**A.** 毎週月曜の朝礼で工具と身だしなみのチェックがありました。いつもチェックが厳しかったですね。その習慣が今でも体に染み付いており、身だしなみには常に気を使うようにしています。また、予習(事前準備)と復習(反省)を繰り返す事で自分のモノになった経験も大いに役立っています。

**Q.** 仕事で一番苦労した点はどんなことですか。

**A.** 人と接することがあまり得意でなかったのが最初で苦労しましたが、上司や同僚、お客様からいろいろ教えていただき、次第に人との接し方も身に付きました。平成20年から10年間、苦情対応を担当しましたが、これまでの教えが活かされ、お客様と真摯に向き合うことで様々な問題を解決することができました。苦労も多かったですが、その分人間的成長につながったと思います。

**Q.** 在学生や新社会人の皆さんへメッセージをお願いします。

**A.** 人との出会いや関わりを大切に、少し高い目標を持ち、それに向かって頑張っていたいただきたいです。





# クローズアップ! Close up! 同窓生

様々な分野で活躍する同窓生の皆様をご紹介します。

## 学校での多くの知識や経験を活かし、レーシング・パーツの専門会社を起業

**Q.** 在学中、印象に残っていることは何ですか。

**A.** 子供の頃から車が好きで、特にメカニックに興味があったためこの学校を選びましたが、自分の好きなことが学べてとても楽しかった時代でした。思い通りに車をカスタマイズして、好きなことを自由に学んだ印象があります。自分仕様に車にいろいろなパーツを付けてレースに出場したこともありました。

**Q.** 今のお仕事に役立っていることは何ですか。

**A.** 現在はレーシングカーのパーツを手がける会社を経営していますが、学校で学んだ知識や実際に車を触ってきたことすべてが今につながっていますね。学生時代はお金もなく、技術も稚拙でしたが、昔からの夢と車をカスタマイズする楽しさから今に至っています。

**Q.** 在学生や新社会人の皆さんへメッセージをお願いします。

**A.** 自動車業界は裾野が広いと、メカニック以外にも世界は広がっています。私自身、卒業生の中では異端であるように、自分で興味のあることをどんどん切り拓いていって欲しいですね。



株式会社NOVEL 代表取締役

**渡辺 卓さん**

Taku Watanabe (2004年度 自動車整備科卒)



愛知トヨタ自動車株式会社 名駅店

**本多 綾乃さん**

Ayano Honda (2013年度 女性ショールームスタッフ科卒)

## 幅広く実践的な授業内容が、仕事をする上で大きく役立っています。

**Q.** 学科創設時に入学されましたが、動機は何ですか。

**A.** 両親が愛知トヨタで車を購入しており、子供の頃から度々店舗へ連れて行ってもらうことがありました。その当時からショールームのきらびやかな雰囲気への憧れがあり、自分もこのような場所で働きたいと考え、この学校に専門の学科が創設されたことを聞いて入学を決めました。

**Q.** 今のお仕事に役立っていることは何ですか。

**A.** 学校では、車の整備をはじめ、接客や立ち居振る舞い、ショールーム作りなど多岐にわたった授業があり、いずれも各分野のプロの方が教えてくださったので、ものすごく勉強になりました。実践的な授業だったので、車や接客のことを何も知らなかった私でも学校で多くのことを吸収でき、今もすべてが役に立っています。

**Q.** 在学生や新社会人の皆さんへメッセージをお願いします。

**A.** これから先、学ぶ機会がたくさんある中で、時には習う必要性を感じない事も出てくると思いますが、まずは一生懸命取り組んでみてください。いつか必ず自分の役に立ってくれる時が来るはずですよ。



# 就職活動 now!

エンジニアを経て採用担当者として活躍しておられる卒業生をご紹介します。

トヨタカローラ愛知株式会社の豊嶋さん、作石さんには11月18日の校内企業説明会にも参加していただきました。

どのような人に入社してほしいか、どのようなことを学生のうちに頑張してほしいかなど自身の経験をもとに伝えられるので、それはメリットだと思います。



## 【質問1】採用担当として学生から感じる事、また変化について

採用活動に関して、マスク着用での対面が基本となり、素顔が見られなくなってしまったため、本人の顔と名前がなかなか一致しないことが一番の悩みです。相次ぐ行事の中止や制限により学生とのコミュニケーションの場が少なくなり、互いの理解を深めづらくなっていると感じます。

職業観については、車に興味があればできない仕事と思われるかもしれませんが、「工具を使って機械を直してみたい」「お客様の安心・安全を守ることで人から感謝されたい」と思える人ならではの仕事であると思ってもらえるといいと思います。

## 【質問2】苦勞している点

コロナ禍、働き方改革など、新しい時代ですので、採用側・教える側が以前に比べて、コミュニケーションの取り方、自身の時間管理・スケジュールの組み立て方などに苦勞する時代になったと感じます。採用後しっかりと成長し、育つまでに退職に至らないために、多くの人が若手をよく見て、フォローするよう本部・店舗との連携をしっかりと取り、変化に気づけるよう努力しています。

## 【質問3】エンジニア経験から採用担当に活用できるメリット

自分が体験したこと(成功・失敗)をそのまま自ら伝えることができます。また、どのような人に入社してほしいか、どのようなことを学生のうちに頑張してほしいかなど自身の経験をもとに伝えられるので、それはメリットだと思います。それらのことを在学中や就職後に活かしていってほしいです。

## 【質問4】役割分担と効果について

スーツとつなぎの2人の採用担当が一緒にいて、福利厚生など硬い話は豊嶋が、サービスの仕事や研修内容については作石が話すことで話にメリハリがでることが一番のメリットと感じています。

## 【質問5】今後の目標や夢、挑戦してみたいこと

【豊嶋】自分のようになりたいと言ってもらいたいですね。

【作石】目標は入社した人が店舗で活躍すること、資格を取得するなど整備士としてはもちろん、人間性の部分でも成長が見られるようにフォローしていくことです。

挑戦してみたいことは、具体的なものはありませんが、今まで誰もしてこなかったことに今後も挑戦していきたいと思っています。



## 豊嶋 紀夫さん

Norio Toyoshima (1989年度 高等科卒)

トヨタカローラ愛知株式会社  
人事部 採用グループ 次長



## 作石 亮仁さん

(2010年度 高度自動車科卒)

トヨタカローラ愛知株式会社  
人事部 教育グループ 係長

Akihito Sakuishi

## 校内企業説明会に参加した学生の感想



高度自動車科4年

## 古池 弘幸さん

が、とても印象的でした。

およそ1年後の入社になりますが、楽しみにしていることは何ですか。

学校で得た知識や能力を発揮できる場に立つことができ、お客様が実際に乗られている車に触れ、役に立てることが楽しみです。

## 採用内定を得た「トヨタカローラ愛知」へ受験を決めた理由は?

実際に親子で働いておられる知人がおり、店舗見学の際にもアットホームな雰囲気が私の性格に合っていると考えたためです。また、営業職の経験ができるチャレンジ制度にも魅力を感じました。

他社との比較や先輩エンジニアからの話など、感じたことがあればお答えください。

自社の紹介だけでなく、学生の就職活動が上手いくようにと、活動の注意点や会社の選び方をたくさん話していただいたこと



自動車整備科2年

## 筒井 樹大さん

が、とても印象的でした。

## 採用内定を得た「トヨタカローラ愛知」へ受験を決めた理由は?

プライベートと仕事の両方を充実させることができそうだと思います、受験を決めました。

私は、収入や休日よりも、総合的に自分が一番幸せになれる職場で働きたいという思いがあり、会社の雰囲気や距離感を実際に見て、それが一番叶うのは「トヨタカローラ愛知」だと思いました。

他社との比較や先輩エンジニアからの話など、感じたことがあればお答えください。

調べたり、資料を読んだりすればわかるような硬い話ではなく、社内の雰囲気や普通の就活では感じる事のない「仕事」について触れる説明内容でした。同時に、合格後のイメージも想像でき、余計な心配や不安が残ることなく受験することができました。

およそ1年後の入社になりますが、楽しみにしていることは何ですか。

学校で学んでいることと現場とはまったく別物だと思うので、これまで勉強で積み上げてきたものをどこまで自分の力にできるのかが楽しみです。



## 入学式



4月6日、令和3年度の入学式が行われました。コロナ禍で、新入生と学校関係者のみの参列となりましたが、自動車整備科197名、高度自動車科82名、女性ショールームスタッフ科22名、車体整備専攻科27名、車体整備研究科7名、国際自動車整備科85名の新入生を迎えることができました！

## 開校60周年記念式典



4月23日、開校60周年記念式典が行われました。コロナ禍のため校内の職員のみで開催されましたが、当日は校長挨拶をはじめ、春日移転(平成2年)からの振り返り映像の上映や、20年と30年の勤続者表彰などが行われ、開校を皆で祝いました。

## 学園祭



10月29日、第24回学園祭が開催されました。昨年度はコロナ禍により開催を自粛しましたが、今年度は、学内関係者のみに来場を制限し開催することができました！整備コンクールやeスポーツで例年以上に熱い戦いが繰り広げられました。

## 中嶋一貴選手講演会



12月9日、中嶋一貴選手の講演会が開催されました。コロナ感染対策で一部のクラスは教室からオンラインでの聴講となりましたが、プロフェッショナルについての講演をしていただきました。最後は恒例のレースゲームで盛り上がりました！

## 車体整備専攻科レストア



昭和49年式のセリカリフトバックをレストアしました。例によってボデーはさびて穴だらけ、エンジンも不動でしたが、2級整備士と車体整備士の総力で見事に復活させ、その成果を2月24日の卒業研究発表会(オンライン開催)で発表しました。発表会後の試走では、18R-Gエンジンのソレックスサウンドも軽やかにテストコースを疾走しました。

## 国際自動車整備科1期生就職活動



国際自動車整備科生の就職活動元年となりましたが、お陰様で2月末までに1期生34名全員が無事内定を得ることができました！

## モータースポーツクラブ



富山、静岡、愛知のTGRラリーチャレンジに出場、また12月には富士スピードウェイの6時間耐久レースに参戦しました。ラリーではドライバーも学生が務め、6耐では表紙に記載の通り、クラス優勝という快挙を成し遂げました！

- 2020年4月からスタートした当校のYouTubeチャンネル「ナゴタイムズ」です。
- 今回のレースで活躍したメンバーがコメントしています。ぜひご覧ください！



## 体験入学



7月30日～8月1日の3日間にわたり体験入学が開催され、高校生を中心に合計193組の方にご来場いただきました。

## 校内企業説明会



11月16～18日、12月2日の4日間にわたり開催しました。全国より146社の企業様にお越しいただき、各社様の特徴を学生たちに伝えていただきました。

## 教材車両続々入荷



新しい教材車両が続々入荷しました！レクサス(11台)をはじめ、クラウン、ハイラックス、カローラツーリング等々、魅力的な教材車両15台が入庫しました。

## 授業参観



コロナ禍により延期していた授業参観を6月26日に開催し、92組のご父母の方が参加されました。実習中のご子女の様子や担任教員との面談とおして学校での様子を知っていただくことができました。

## 車体整備専攻科匠の技講習



7月8日、トヨタ自動車の「匠の技」技術者による、車体整備専攻科生への講習会が開催されました。ハンマリングによる鋼板加工での歪みくりや、スマホケースへの特殊塗装などを学びました。

## GRヤリスラッピング



車体整備研究科の授業の一環で、校用車GRヤリスへのラッピングが行われました。アツと驚くイメージチェンジ！白いヤリスが、超かっこいい艶なしのミッドナイトブルーに生まれ変わりました！2022年3月さらに、校名のロゴがラッピングされ、より一層かっこよくなりました！



運動部



コロナ禍で活動が制限される中でも活躍しました！中でも卓球部は、全国大会男子団体戦準優勝など見事な成績を取めました！

キャリア講演会



3月2日、当校OBネットヨタ富山取締役の村井忠嗣様に、卒業を控えた学生にご講演をいただきました。村井様は高等科の10期生で、1988年に卒業され、BR戦略・人事総務・サービス技術部長として活躍されています。当日はコロナ感染対策として学内リクルートセンターから各教室へのライブ配信となりましたが、社会へ出てからの様々なアドバイスを同校OB・OGのビデオメッセージとともにご講演いただきました。村井様、ありがとうございます。

高専連携協定調印式の開催



3月29日、愛知県内の自動車科を有する公立の高等学校4校と当校との間で、連携協定の調印式が執り行われました。本協定の目的は、高等学校自動車科や専門学校などにおいて、段階的に習得させるべき教育内容を教員の研修などを通して共有するとともに、当校の施設設備を活用した体験実習や教員派遣による出前講座、生徒同士の交流などを通して、CASEの進展に伴い高度化する自動車に対応できる整備士を育成することです。今後の取り組みが楽しみです。

編集後記

今回大幅な紙面リニューアルをおこない、卒業生のご活躍を中心にお届けいたしました。未曾有のコロナ禍ですが学校では授業や行事も可能な形で再開をしています。みなさんにおかれましてもお身体に気をつけて、ご活躍されることをお祈りいたします。

学生フォーミュラ



昨年に引き続き、コロナ禍により静的審査のみの開催となりました。力を合わせて取り組んだ結果70チーム中34位と名だたる大学が名を連ねる中、満足のいく結果を得ることができました。また、動的審査の代替イベントとして開催された公式記録会では、初めて本コースを走行させ、高い性能を持った車両であることがわかり、一年間の努力が報われた気がしました。

卒業式



3月16日、令和3年度の卒業式が行われ、高度自動車科78名、自動車整備科193名、車体整備研究科7名、車体整備専攻科27名、女性ショールームスタッフ科21名、合計326名が無事卒業しました。残念ながらコロナ感染対策のため、在校生、保護者並びにご来賓の来場はかありませんでしたが、YouTubeにてライブ配信を行いました。

川口浩二校長 祝辞

未曾有のコロナ禍の中の2年間、皆さんは大変よく頑張りました。他責ではなく、常に自責の対応を実践してください。また、石の上にも3年の言葉通り、まずは粘り強く取り組んでください。そして、尊厳と責任を持ち、北極星のごとく活躍してください。

なお、川口校長はこの3月をもってご退任されました。2014年1月から副校長を3年間務められ、そしてこの3月までの5年間を校長として当校のかじ取りをしていただきました。8年以上の長きにわたりありがとうございます。そして、お疲れ様でした。なお、2022年4月からは永田透副校長が新校長となりました。

同窓会会長 愛知トヨタ自動車(株) 執行役員 杉浦 豪様 祝辞

100年に一度の大変革期を迎えている今、生きるか、死ぬかの戦いが始まっています。まずは明るさと素直さを持ち、粘り強く、常にこれだよいかと自問を繰り返して成長してください。そして、強く優しい人となって、多くの人を笑顔にするために努力してください。

中部運輸局 自動車技術安全全部部長 高瀬竜児様 祝辞

自動車の自動運転、電動化など、今後検査制度もますます変化します。自動ブレーキの特定整備など、整備士の重要性はますます増加します。卒業生の皆さんは実力を存分に発揮し、地元のカードクターとして活躍してください。

同窓会紹介 入学希望者をご紹介ください。

受験者は受験料1万円を軽減、紹介者は謝礼進呈。

受験者	受験者氏名	
	受験者出身校	

紹介者	紹介者氏名	
	卒業学科・卒業年	科 年
	紹介者住所	〒

この紹介書をコピーして入学願書に同封いただくか同窓会事務局までお送りください。

「同窓会親族優遇制度」(3親等以内の方の紹介で入学後5万円を支援)につきましては、当校学生募集要項2023年4月入学生用をご参照ください。但し、「同窓会紹介」との併用はできませんので予めご了承くださいませよう、お願いいたします。